

街かどがんサロンサンフラワー ～がんサバイバーのウェルビーイングをサポートする～

阿南 節子 ●医療法人英仁会 大阪プレストクリニック 薬剤部 薬剤師



「街かどがんサロン・サンフラワー」の活動内容

1. 背景と目的

がんサバイバーのウェルビーイングを支える

日本人の2人に1人ががんに罹患し、医療の進歩により長期生存が可能となった現在、がんとともに生きる人々が増えている。がんサバイバー（がんを経験した人、及び家族・友人など）は、健康面、経済面など様々な問題を抱えている。問題解決に向けて、より良い意思決定をするためには、治療上の疑問や、心理的・社会的な悩みについて相談し、必要な情報や支援にアクセスできる環境が必要である。治療中の患者に対しては、様々な専門家が支援する体制が整備されてきたが、その多くが治療上の疑問に対する支援であり、生活をサポートする視点のものは少ない。また、手術・放射線治療・化学療法などの積極的治療終了後の患者を支える仕組みは十分とは言えない。

本サロンは、「健康とは、身体面だけではなく、精神面、社会面のすべてが良い状態（well-being）にあること」というWHO（世界保健機構）の概念を基本として、がん医療の専門家が集まり、がんサバイバーの日常生活をサポートする組織を作るために、2016年から活動を開始した。このたび大阪市浪速区桜

川に事務所を構えて、一般社団法人「街かどがんサロン・サンフラワー」を設立した。

2. 取り組みの方法

① 専門職による相談会、がんサバイバー交流サロンの企画及び運営

医師・看護師・薬剤師など専門職による支援が受けられる場所、がんサバイバーが気軽に立ち寄れて正しい情報にアクセスできる場所として整備する。

② セミナーの開催・啓発活動

医療、健康面、経済面などのテーマでセミナーを行い、WEBでも配信する。

③ ウィッグバンクの運営

使用済みの医療用ウィッグを回収し、洗浄・手入れした後にウィッグを必要とするがん患者に貸し出す。

④ リフレッシュヨガ

ヨガは、がんサバイバーの睡眠障害、疲労感、不安感を軽減しQOLを改善することが示されている。

3. 期待される成果

本サロンは、専門職としてがん医療に従事する中で、がんサバイバーの支援のために医療機関のみでできることの限界を痛感し、「街かどがんサロン・サンフラワー」を立ち上げた。気軽に立ち寄れる居心地の良い場所、話を聞き悩み解決のサポートをする専門職がいる場所として、がんサバイバーが根拠のある情報や支援を得て、より良い日常生活を送れるよう支援をしていく。